

芸術科音楽学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校

講師 中村 絃子

- 1、平成25年10月25日(金)第3限目
- 2、場所 有田中央高等学校 音楽室
- 3、学年 3学年 音楽系列生(男子2名 女子6名 計8名)
- 4、生徒観 本授業選択の生徒は、積極的に取り組む生徒もいるが、なかにはコミュニケーション面や取り組みの意欲に課題のある生徒がいる。興味や関心を喚起し、主体性を高められるような授業展開の工夫を心がけている。
- 5、単元「グループ演奏の喜び」
- 6、単元目標 一つの演奏表現をつくり上げ、音の響きを感じアンサンブルを通して協同する喜びを感じとる。
- 7、本時の目標 個人練習からグループ練習へと発展させる。音と心を合わせていき、響き合う音楽を体験する。
- 8、本時の創意工夫(五観点について①～⑤)
 - ①本時の学習内容を板書する。
 - ②分かりやすいアドバイスを工夫する。
 - ③グループで協力して合奏に取り組む。
 - ④発表する場を設定する。
 - ⑤活動の場を整え、静と動のメリハリをつける。
- 9、本時の展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点	学習形態	創意工夫 ①～⑤
導入 (5分)	・始業の挨拶 ・本時の学習内容について	・本時の学習内容と目標を確認する。	・学習の流れを板書する。 ・前回の練習を振り返り、合奏の練習に進むことを意識させる。	一斉 一斉	① ⑤
展開 I (25分)	各楽器の音の重なりに耳を傾けよう。				
	・グループ練習 I	・2人一組に分かれて練習。 ・楽譜を、 A ～ I に区切って反復学習を行う。	・速度や強弱の確認。 ・表現したいイメージを伝え合うよう促す。 ・各楽器の特性を理解し、楽器の効果を知覚させる。	ペア	② ④
展開 II (15分)	自分たちの表現をつくろう。				
	・グループ練習 II ・中間発表	・楽譜の C (サビ)をメインに合奏練習を進める。 ・各グループの通し発表を聴き、相互評価・自己評価を行う。	・グループのイメージに合った表現が出来るように技能面などアドバイスする。 ・演奏を聴き、表現の工夫点など、伝わってきたことを具体的にコメントさせる。	グループ グループ	③ ④
まとめ (5分)	・本時の振り返り ・終業の挨拶	・授業記録に本時の内容と感想・反省を記入する。	・活動を振り返り、自己評価させる。	個人 一斉	⑤